

■小泉セツ ラフカディオ=ハーンの妻となり、小泉八雲へと変身させた。

こいずみせつ

明治維新・・・1868= 松江藩上級士族小泉湊の次女に生まれる。母はチエ。6人兄弟。生まれてすぐ、親類の稲垣家養子となる。

古武士風の実直な養父のもと、維新で没落して行く士族の世界を見つつ、親類縁者たちから神話やお伽噺を聞きながら育ち、

明治6年政変 1873= 5歳 :

三つの内乱・1876= 8歳 : 公立小学校に入学したが、

大久保暗殺・1878= 9歳 :

養家困窮で、

・・・1880=11歳 : 下等教科卒業後、進学望むも叶えられず、

明治14年政変 1881=12歳 :

この間、実家も没落するという、屈辱の歳月を送るうち、

国民之友始・1887=18歳 :

初の対等条約1888=19歳 : 貧乏士族鳥取藩士の次男を婿に迎えるが、

帝国憲法発布 1889=20歳 : 稲垣家の零落ぶりに絶望した夫は家出してしまい、発見して連れ戻そうとするも失敗、実家でも次男が夭折、長男は家出、弟の三男も働かずという状況で、病臥する実父を世話するうち、死去してしまうと、実母も乞食同然となるまで落ちつづれるのを見て、意を決し、

帝国議会始・1890=21歳 : 離婚届受理されると、稲垣家を退去し、小泉家に籍を戻すとともに、この年、松江の尋常小学校の英語教師に赴任してきたラフカディオ=ハーンが生活苦難から住み込み女中を探しているのを人づてに知るや、

足尾鉉毒始・1891=22歳 : *妾のウワサが立てられるのもかまわず、引き受けるという起死回生の行動に出る。ハーンも不幸な生い立ちだったことなどから、やがて、信頼関係が構築され、互いの人物像や人生に敬意と愛情を抱くようになり、ハーンの良い理解者でありセツとの通訳もしてくれた西田千太郎の媒酌で結婚し、武家屋敷に転居する。以後も日本語を通すように求められ、語り部として後の夫の作品に息も吹き込んで行く。

郡司千島探検 1893=24歳 : 長男一雄を出産。

日清戦争始・1894=25歳 : 夫が{神戸クロニクル}記者となり、一家で神戸に移住。

白馬会・・・1896=27歳 : 一家で市ヶ谷に転居。次男を出産。*夫が帰化して小泉八雲になるとともに、正式に妻となるに至る。夫が東京帝国大学から招聘されるが、

Bushidou・・・1899=30歳 : 三男を出産。

教科書疑獄・1902=33歳 : 近くの寺の古樹が伐採されたことに夫が憤慨、一家で、西大久保の広い屋敷へ転居。

以後、夫は講義と執筆にのみ没頭し、人との接触を避けるようになって行く。

日比谷公園・1903=34歳 : 長女を出産。

日露戦争始・1904=35歳 : *夫は一片の解雇通知で退職させられると、大学当局への不信感もつり、面会を全て断るようになる。夫が名著「怪談」を出版、以後、「日本」の執筆に心血を注いで行くが、子どもたちを連れての焼津の海水浴から戻ってまもなく、心臓発作を起こし、狭心症で死去。

日露戦争終・1905=36歳 :

版權や印税のおかげで、家や書齋を生前のまま保存した上、それなりに裕福な生活を送る。

明治天皇没・1912=43歳 : 孝行尽くしてきた実母、続いて養母が死去。

第一次大戦始 1914=45歳 :

原敬首相暗殺 1921=54歳 :

動脈硬化に罹り、

海軍軍縮条約 1930=63歳 :

満州事変・・・1931=64歳 : 脳溢血で倒れ、

五一五事件・1932=65歳 : 再発し、_没した。